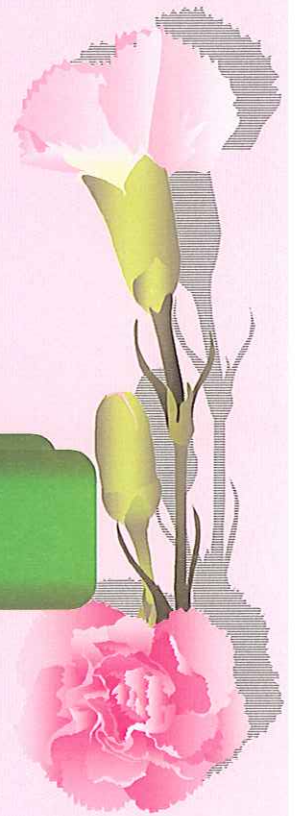


X線検診車をデジタル化で (CCDスポットカメラ) コスト削減&エコ

胃・胸部X線デジタル撮影システム
T-DRM、MXI-900eの提案

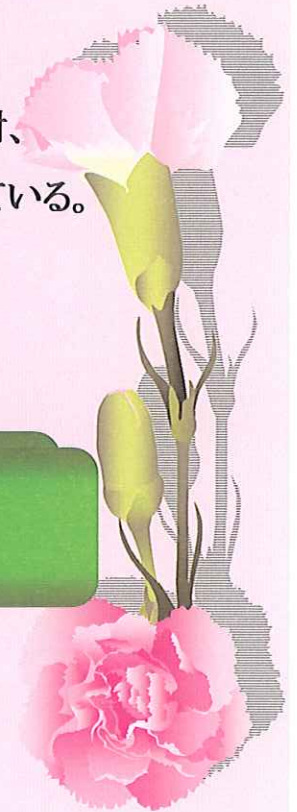
検診業務のIT化に向けてX線画像
のデジタル化を安価にご提供。



検診現場の現状

- 医療改革が進む昨今IT化促進が必要不可欠になって来ました。
- 検診による早期発見早期治療の促進が予測される。
- 検診業務の現状IT化が殆ど進行していない。
- NOX,PM法により殆どのバスが使用不可能になる可能性が有る。
- 検診バスを新規導入してもX線装置が新規購入出来ない経済状態。
- 新車買換えやX線撮影装置新規購入が容易に出来ない、現行X線装置の載変えの検討、
- ミラーカメラ、マーゲン用スポットカメラ、直接撮影用Filmチェンジャー、製造中止と聞いている。

検診業務のIT化に向けてX線画像
のデジタル化を安価にご提供。



現在検診バスをデジタル化するには

胸部X線装置搭載車の例

- 1・新車＋X線発生装置＋デジタルフラットパネル
- 2・新車＋X線発生装置＋CR装置

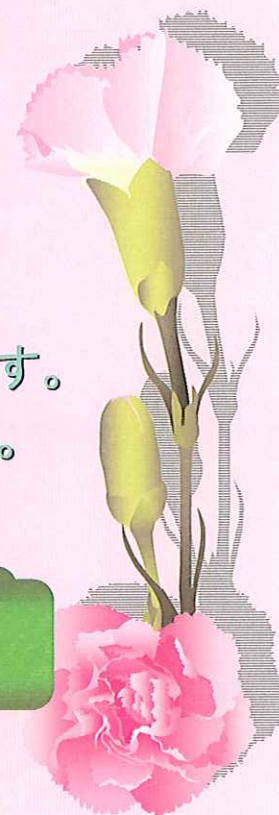
胃部X線装置搭載車の例

- 1・新車＋X線発生装置＋I・I DR 装置

DRM(胃部), MXI-900e(胸部)を採用の場合

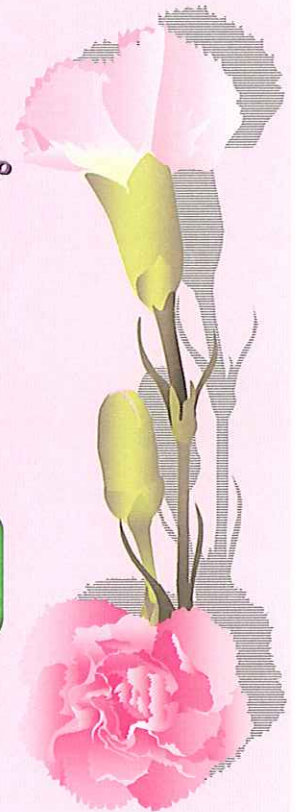
- 既存X線発生装置はそのまま使用する為、初期導入費用が節約できます。
- NOX、PM法により検診バスを新車に交換X線装置を載せ替え可能です。

デジタル化による導入コストの削減が可能

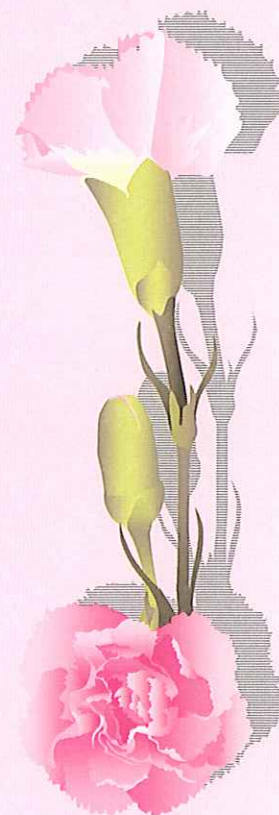


- 遠隔診断が容易にできます。
- 施設間データの共有化で、複数医師の読影が容易になります。
- 検診者データ管理が容易にできます。
- データ検索が容易になり、過去画像比較診断が容易にできます。
- 報告書作成までの時間短縮ができます。
- その場で画像確認が可能で再撮影が減少します。
- フィルム代、自動現像機、現像に必要な薬品、廃液処理費用を削減。
- 検診準備等の作業性が向上します。
- CADによる診断精度向上の将来展望が期待されます。

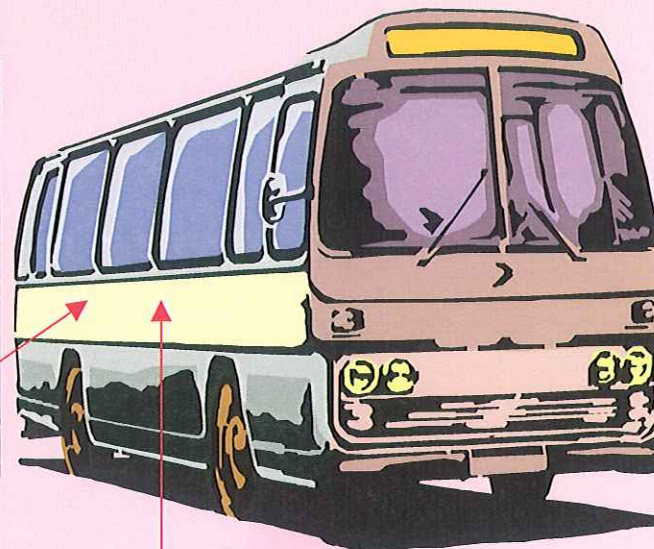
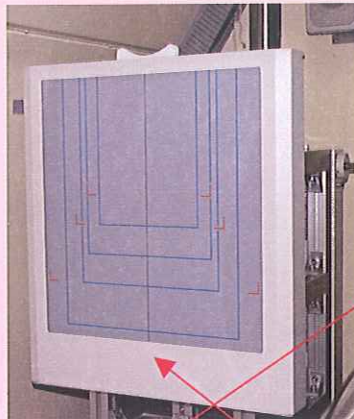
DRMシリーズは診断品質の向上、経済効果をご提供致します。



X線デジタル撮影システムDRシリーズ 製品概要のご紹介

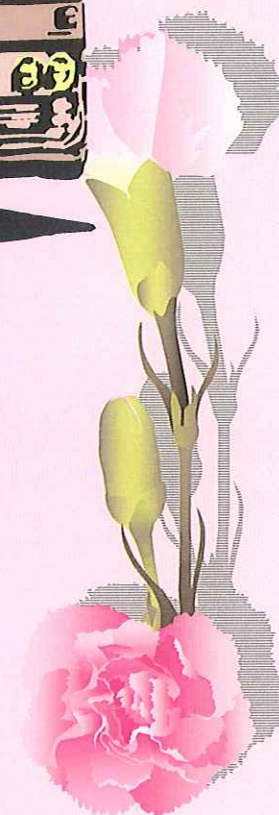


健診施設、健診バス、デジタル化撮影装置

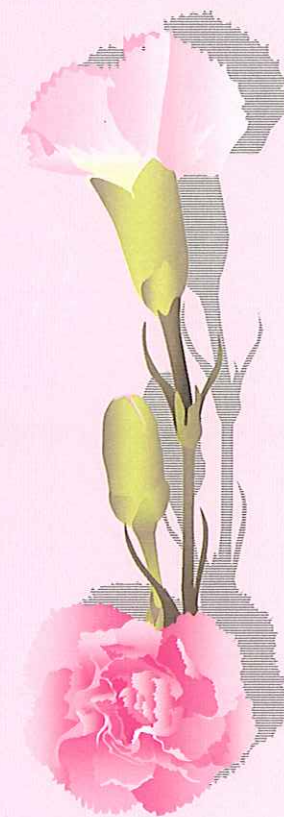
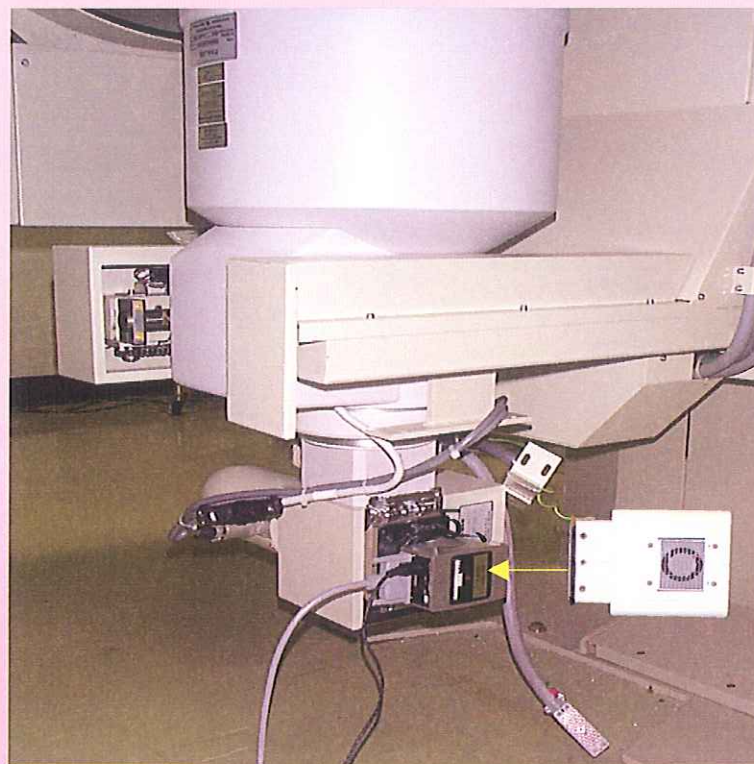


胃透視検査のデジタル化
T-DRM

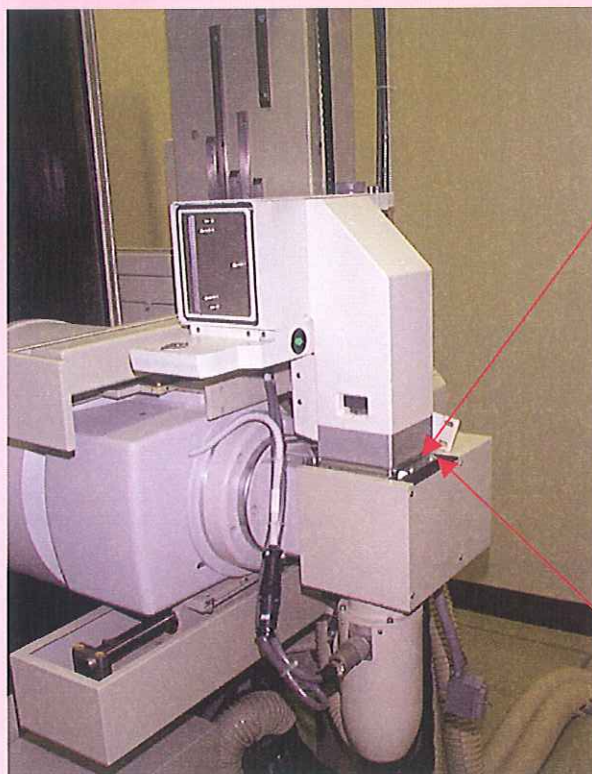
胸部のデジタル化
MXI-900e



T-DRM(胃部用) X線TV装置用デジタルスポットカメラ



アナログミラーカメラ

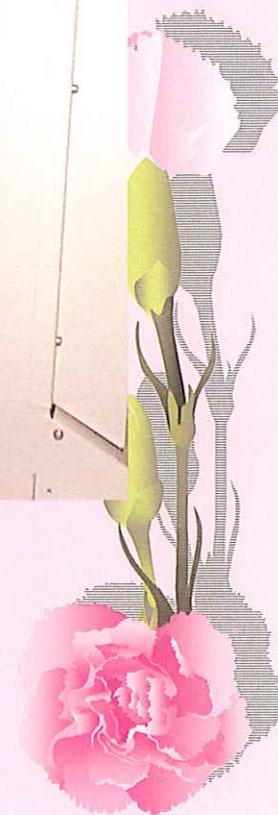


フリップスマウント
から取外す。

CCDカメラに
フリップスマウント
を取り付ける。
(共通マウント)

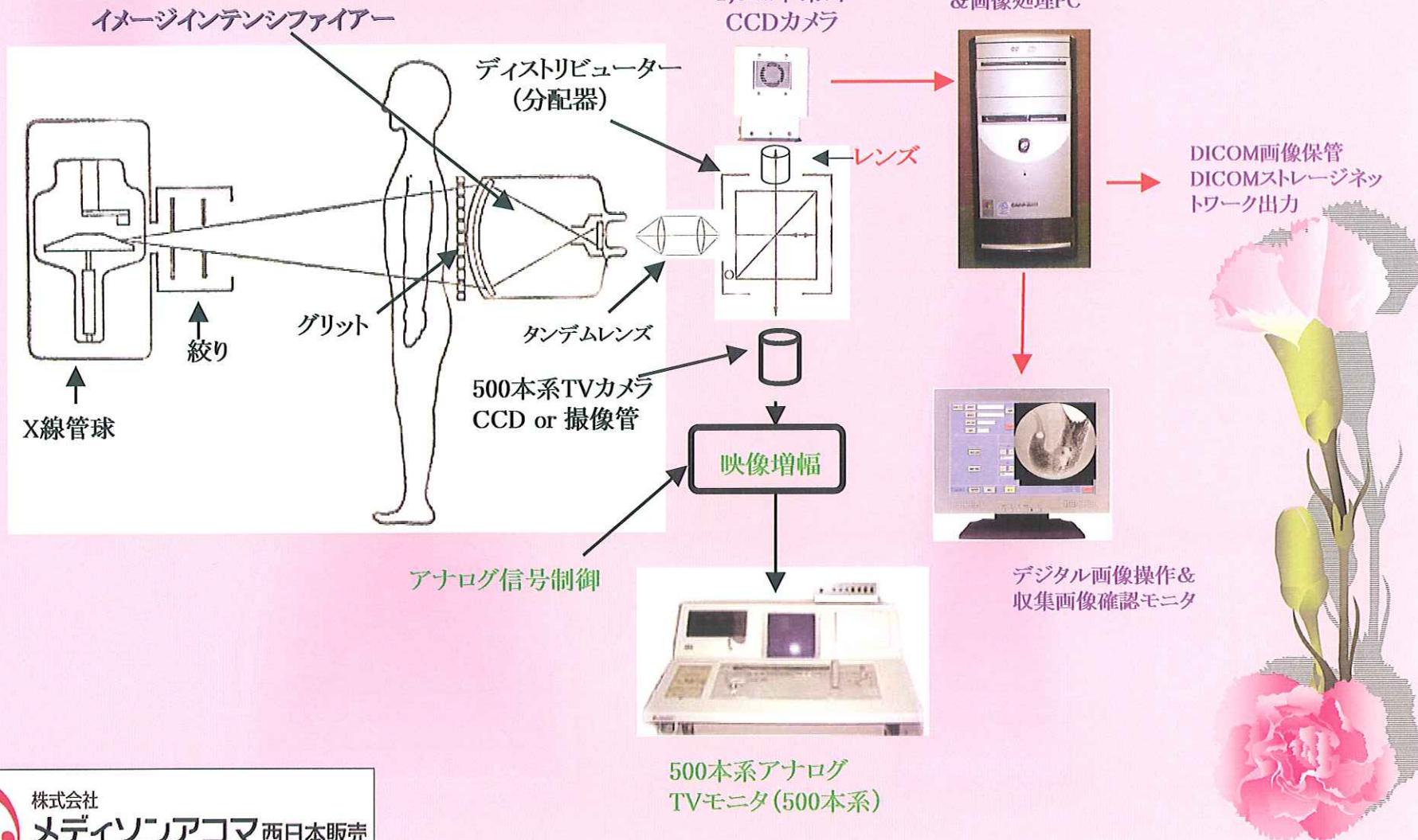


デジタルCCDカメラ



健診用X線TV装置デジタル化装置(胃部用)

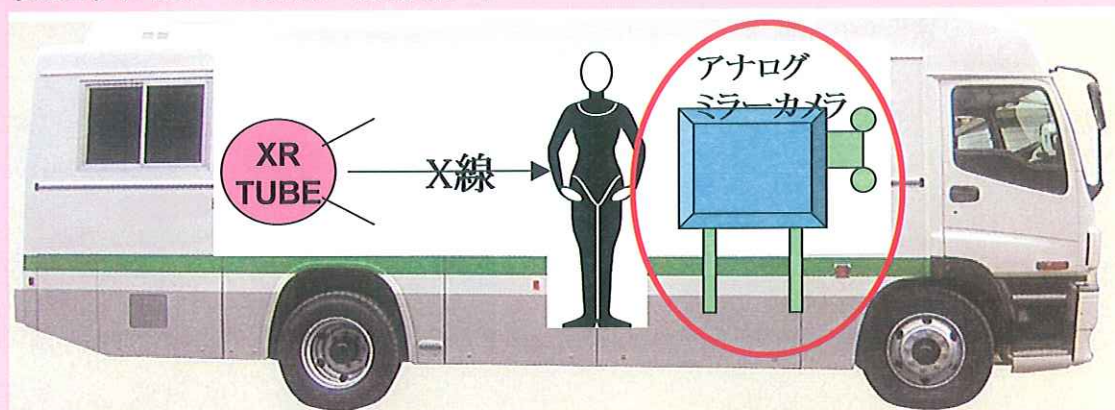
既存 X線TV装置デジタル化構成図



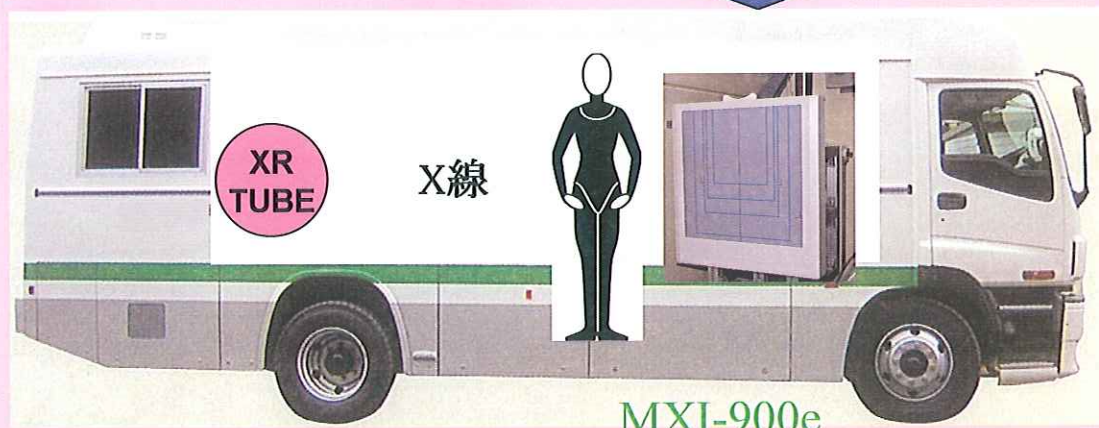
株式会社
メディソンアコマ 西日本販売
画像診断機器・販売サービス

既存X線発生装置をそのまま使用

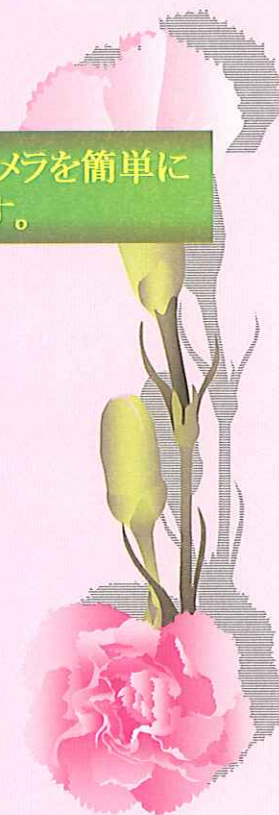
現在、お使いの胸部X線検診車



FPD搭載デジタル胸部X線検診車

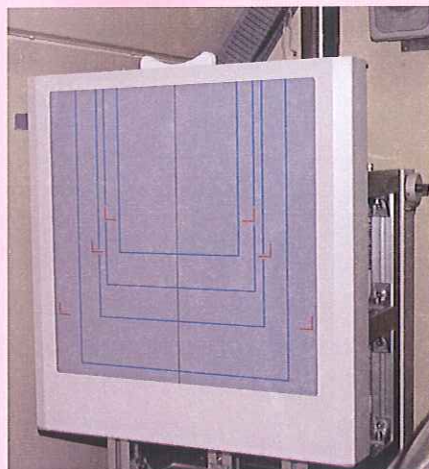


X線間接用ミラーカメラを簡単に
FPDと交換できます。

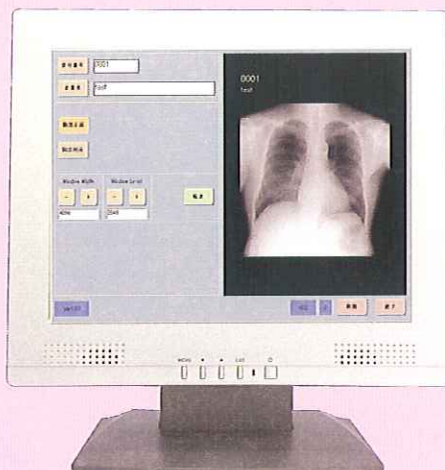


デジタル(胸部用)システム

MXI-900e(FPD)
(じん肺撮影認定)



操作コンソール&
画像表示モニタ



検診バス搭載可能・検診施設・
クリニック等のデジタル化に最適設計

画像収集PC



MXI-900はX線を直接イメージセンサー
に受け取り、デジタルデータに変換する

ネットワーク構築・IT化促進
遠隔診断支援サービスに対応致します

